

2025年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月15日
東・名

上場会社名 KeePer技研株式会社 上場取引所
コード番号 6036 URL <http://keepergiken.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長兼Co-COO（氏名）賀来 聡介
問合せ先責任者（役職名）常務取締役兼CFO（氏名）山下 文子（TEL）0562-45-5777
定時株主総会開催予定日 2025年9月26日 配当支払開始予定日 2025年9月9日
有価証券報告書提出予定日 2025年9月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期の業績（2024年7月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	23,093	12.2	7,098	16.3	7,131	17.4	4,888	10.6
2024年6月期	20,574	20.7	6,101	11.4	6,075	11.0	4,421	11.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	179.14	—	30.1	32.3	30.7
2024年6月期	162.02	—	34.5	35.4	29.7

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	24,826	18,042	72.7	661.10
2024年6月期	19,284	14,466	75.0	530.08

（参考）自己資本 2025年6月期 18,042百万円 2024年6月期 14,466百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	5,855	△6,796	△27	4,172
2024年6月期	5,279	△2,495	△1,222	5,137

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00	1,364	30.9	10.7
2025年6月期	—	0.00	—	60.00	60.00	1,637	33.5	10.1
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00		—	

（注）2025年6月期の期末配当は、普通配当54.0円に加え、創立40周年記念配当6.0円を支払うこととし、年間配当を60.0円といたしました。
2026年6月期の期末配当予想については、前期実績60.0円を下限としており、一過性の特別利益の活用については成長投資、財務健全性、株主還元のバランスを総合的に勘案し、追加還元の有無を第1四半期の決算時を目途に公表いたします。

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,300	9.9	4,350	7.9	4,350	8.4	4,700	71.1	172.29
通期	26,300	13.9	8,000	12.7	8,000	12.2	7,200	47.3	263.93

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期	28,280,840 株	2024年6月期	28,280,840 株
② 期末自己株式数	2025年6月期	989,619 株	2024年6月期	989,024 株
③ 期中平均株式数	2025年6月期	27,291,395 株	2024年6月期	27,287,637 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P6「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 財務諸表及び主な注記	9
(1) 貸借対照表	9
(2) 損益計算書	11
(3) 株主資本等変動計算書	13
(4) キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	16
(表示方法の変更)	16
(セグメント情報等)	16
(持分法損益等)	19
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2024年7月1日から2025年6月30日)における我が国の経済は、雇用・所得状況の改善やインバウンド需要の増加など明るい材料も見られましたが、エネルギー・原材料価格の上昇、米国の政権交代後の政策動向、中国経済の成長鈍化、中東情勢の不安定化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社ではKeePerコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けたKeePerブランドのブランディングを確実にしていくために、最も重要であると考えております。

2025年6月期 実績

当事業年度(2024年7月1日から2025年6月30日)におきましては、売上高 230億93百万円(前年同期比12.2%増加)、営業利益70億98百万円(同16.3%増加、決算賞与130百万円を計上)、経常利益71億31百万円(同17.4%増加)と、売上・利益ともに過去最高を更新することができました。

事業分野別の状況は、次のとおりです。

【キーパーLABO運営事業】

キーパーLABO運営事業の売上は126億92百万円(前年同期比13.5%増加)、営業利益は27億16百万円(同19.5%増加)となりました。

第4期間中(2025年4月～6月)のキーパーLABOは、月ごとに大きな変動が見られました。4月は春需要を受け、全店で実施した『スプリングフェア』が好評で、来店台数は前年同月比17%増と大きく進捗しました。5月は週末の降雨が続き、日照時間の少なさに比例する形で来店台数が減少しました。そして6月になると、一転して早い梅雨明けとなり、来店台数が一気に増加しました。異例の暑さも相まって、お客様の「さっぱりキレイにしたい」ニーズが高まり、来店台数は全体で前年同月比30.0%増加となりました。すべてのキーパーコーティングで施工台数が前年を大きく上回り、2025年6月期の最後の1ヶ月を良い形で締めくくる事ができました。

(各KeePerコーティングの施工台数状況)

2024年7月～2025年6月までの1年間に於いて、KeePerの需要は引き続き堅調に推移しました。SNSで人気のある高付加価値のEXキーパーの施工台数は14,272台(前年比13.3%増加)と最も大きな伸びを示し、ダイヤモンドキーパーシリーズの施工台数は、2,800台(前年比5.3%増加)と順調に伸びております。既販車向けに人気のある、同フレッシュキーパー、クリスタルキーパーは19,281台(同8.8%増加)となりました。また、各KeePerコーティングメンテナンスの施工台数は前年比15.2%増加となり、車齢が年々上昇し続けていることもあり、今乗っている車をキレイに長く乗りたいという需要が引き続き高まっております。

その結果、2025年6月期における総来店台数は748,349台(前年比11.6%増加)となり、多くのお客様にサービスを提供する事ができました。平均単価は、ご来店のお客様の100%受け入れ奨励に力を入れてきたこともあり、単価の低い洗車が相対的に多くなったため16,839円(前年比0.3%減少)と、わずかに減少いたしました。

(KeePerの需要拡大に合わせて、キーパーLABO FC募集開始)

2024年8月の出光興産株式会社との業務提携を皮切りに、同年11月からフランチャイズ募集を開始いたしました。その結果、ガソリンスタンドや新車ディーラーを運営する企業など、約50社・100店舗以上から申し込みと適合性検討の申し入れをいただきました。

2025年6月期にはFC6店舗が仲間入りし、2026年6月期以降も多くのFC店舗の出店が続いてまいります。

（新店の開発状況）

店舗名	所在地	オープン日	LABO累計店舗数 ()内：直営店
シンガポール店	シンガポール	2024年8月1日	134 (121)
神戸岡場店	兵庫県神戸市	2024年8月28日	135 (122)
堺鳳店	大阪府堺市西区	2024年8月30日	136 (123)
広島観音店	広島県広島市西区	2024年9月20日	137 (124)
品川店	東京都品川区	2024年9月28日	138 (125)
黒川店	愛知県名古屋市北区	2024年10月9日	139 (126)
神戸垂水店 (FC)	兵庫県神戸市垂水区	2024年11月8日	140
金沢西泉店	石川県金沢市	2024年11月14日	141 (127)
豊田土橋店	愛知県豊田市	2024年11月27日	142 (128)
野並店 (FC)	愛知県名古屋市天白区	2024年12月18日	143
長崎時津店 (FC)	長崎県西彼杵郡	2025年2月1日	144
戸塚原宿店	神奈川県横浜市戸塚区	2025年2月19日	145 (129)
横浜あざみ野店 (FC)	神奈川県横浜市青葉区	2025年2月26日	146
宇都宮鶴田店 (FC)	栃木県宇都宮市	2025年3月12日	147
宮城野店	宮城県仙台市	2025年3月28日	148 (130)
湘南台店 (FC)	神奈川県藤沢市	2025年4月11日	149
佐野店	栃木県佐野市	2025年4月23日	150 (131)
京都 右京店	京都府京都市右京区	2025年4月25日	151 (132)
藤枝店	静岡県藤枝市	2025年5月30日	152 (133)
芦屋店	兵庫県芦屋市	2025年6月18日	153 (134)
松本筑摩店	長野県松本市	2025年6月24日	154 (135)
明治通り尾久店	東京都北区	2025年6月27日	155 (136)
名取店	宮城県名取市	2025年6月28日	156 (137)

以上、2025年6月期はFC6店舗、直営17店舗、合計23店舗の新規出店（エリア初出店は5店舗：シンガポール店、金沢西泉店、長崎時津店、藤枝店、松本筑摩店）があり、キーパーLABOは156店舗体制となりました。

【キーパー製品等関連事業】

キーパー製品等関連事業の売上高は104億円（前年同期比10.7%増加）、セグメント利益は43億81百万円（同14.4%増加）と増収増益になりました。

	2024年6月期 通期	構成比	2025年6月期 通期	前年比	構成比
製品等関連	9,393	100.0%	10,400	110.7%	100.0%
アフターマーケット	6,514	69.3%	6,464	99.2%	62.2%
新車	2,383	25.4%	3,156	132.4%	30.3%
海外	61	0.6%	141	231.1%	1.4%
車以外	435	4.6%	639	146.9%	6.1%

市場別に見ると、長年にわたり製品等関連事業をけん引してきたキーパープロショップを中心とする「アフターマーケット」では、売上高が前年同期比0.8%減少し、本事業において初めて前年を下回る結果となりました。

要因は、主に以下の2点です。

1つ目は、燃料価格の高騰の影響です。ユーザーが燃料価格の負担増により、コーティングと洗車を買控える動きが見られました。

2つ目は、石油元売り系列の再編に伴う混乱です。今後の燃料油販売数量の減少を目前に、ENEOS直系の大手石油販売会社の3社統合や、出光直系の統廃合が行われ、現場が混乱し、コーティングや洗車販売に集中できず、店舗の売上が低下しました。

一方で、毎年開催されている「2025年 キーパー技術コンテスト」では、参加人数が過去最高になるなど、元気のあるキーパープロショップもまだまだ健在です。

新車ディーラーを中心とした「新車マーケット」では、売上高が前年同期比32.4%増加し、全体に占める構成比も前期の25.4%から30.3%へと伸長しました。

上記のアフターマーケットの減少は数年前から予測しており、5年前ほど前から新車マーケット向け販売を強化してきた結果、新車マーケットの50%以上のシェアを持つトヨタディーラー向け販売が3年連続で約2倍ずつ増加し、今後の成長トレンドに対する確かな展望がしっかり見えております。

なお、新車販売台数に対するKeePerの施工シェアは、まだ2桁には届いておらず、今後も大きな成長余地があることは事実です。引き続き、営業強化を図ってまいります。

新車メーカーでの純正採用も進展しており、スバル、トヨタ、ホンダ、三菱に続き、2025年3月よりボルボ・カー・ジャパン株式会社においてもKeePerが純正品として発売になりました。また、既報のとおり、合同会社ベンツ・ジャパンからも純正品として発売が始まっております。

車以外のサービスも前年同期比46.9%増加と飛躍し、構成比が6.1%まで拡大しました。主な要因として、auブランドを展開するKDDI株式会社より、モバイル端末用KeePerコーティング「Mobile KeePer（モバイルキーパー）」が55万台分納入されたことが挙げられます。また、家の水回り用コーティングとして「お風呂キーパー」の発売も開始いたしました。お風呂掃除の労力を軽減させるだけでなく、浴槽のスリップ防止の効果もあるため、ホテルなどでの採用が活発になってきております。

海外展開については、2024年8月1日、シンガポールにて「KeePer LAB0」が初の海外出店を果たしました。月間売上は300万円前後ですが、日本同様、リピーターが積み重なる2年目のジャンプに期待しております。

また、台湾のコーティングと洗車の専門店を運営するキーパープロショップは、昨年の3店舗から今年は11店舗へと拡大いたしました。運営企業は台湾市場での株式公開も果たし、台湾国内で大きな注目を集めています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べ55億42百万円増加し、248億26百万円となりました。これは主として、現金及び預金が増加し、建物が増加、投資有価証券が増加したこと等によるものです。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べ19億66百万円増加し、67億84百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が増加し、未払法人税等が増加、長期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べ35億75百万円増加し、180億42百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加した一方で、配当により減少したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べ9億64百万円減少し41億72百万円(前事業年度末比18.8%減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は58億55百万円(前事業年度比5億75百万円増加)となりました。非資金項目の主な内訳は税引前当期純利益71億34百万円、減価償却費5億57百万円であり、支出の主な内訳は法人税等の支払額17億91百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は67億96百万円(前事業年度比43億1百万円増加)となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出19億80百万円、投資有価証券の取得による支出42億57百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は27百万円(前事業年度比11億94百万円減少)となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入15億円、支出の主な内訳は配当金の支払額13億64百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期
自己資本比率	60.6	67.8	73.9	75.0	72.7
時価ベースの自己資本比率	861.1	812.0	882.8	580.2	390.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.2	0.2	0.0	0.0	0.25
インタレスト・カバレッジ・レシオ	642.4	821.2	2,750.7	2,938.33	651.42

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー / 利払い

- (注) 1 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
 2 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
 3 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

2026年6月期 見通し

新年度（2025年7月1日から2026年6月30日）の見通しは、売上高263億円（前事業年度比13.9%増加）、営業利益80億円（同12.7%増加）、経常利益80億円（同12.2%増加）、当期純利益は72億円（同47.3%増加）の増収増益を見込んでおります。

事業分野別の見通しは、次のとおりです。

【キーパーラボ運営事業】

キーパーLABO運営事業においては、直営25店舗、FC19店舗、合計44店舗の出店計画しております。いよいよ大台の200店舗となり、KeePerの需要拡大に伴い、全国に広がるキーパープロショップやカーディラーへのサポート強化も視野に入れ、全国くまなくキーパーLABOを拡大してまいります。

（今後の新規出店予定）

現在、すでに具体的に予定されている新規出店は下記のとおりです。

店舗名（仮称）	所在地	オープン予定日	LABO累計店舗数 （）内：直営店
盛岡店（FC）	岩手県盛岡市（岩手県初）	2025年7月2日	157
青森店（FC）	青森県青森市	2025年7月4日	158
宮の沢店	北海道札幌市西区	2025年7月30日	159（138）
長野店	長野県長野市	2025年9月	160（139）
国分寺南店（FC）	東京都国分寺市	2025年9月	161
稲沢店	愛知県稲沢市	2025年9月	162（140）
大和店（FC）	神奈川県大和市	2025年10月	163
釧路店（FC）	北海道釧路市	2025年10月	164
栗東店（FC）	滋賀県栗東市	2025年10月	165
岩出店	和歌山県岩出市（和歌山県初）	2025年11月	166（141）
札幌インター店（FC）	北海道札幌市	2025年11月	167
周南店	山口県周南市	2025年11月	168（142）
西条店	広島県東広島市	2026年1月	169（143）
甲府店	山梨県甲府市	2026年1月	170（144）
つくば店（FC）	茨城県つくば市	2026年1月	171
大垣北インター店	岐阜県大垣市	2026年2月	172（145）
岡崎針崎店	愛知県岡崎市	2026年2月	173（146）
東大阪店	大阪府東大阪市	2026年2月	174（147）
鎌ヶ谷店	千葉県鎌ヶ谷市	2026年2月	175（148）
枚方北山店（FC）	大阪府枚方市	2026年2月	176
高松店	香川県高松市	2026年3月	177（149）
高崎店	群馬県高崎市	2026年3月	178（150）
八尾店	大阪府八尾市	2026年3月	179（151）
岡山福成店（FC）	岡山県岡山市	2026年3月	180
仙台錦ヶ丘店（FC）	宮城県仙台市	2026年3月	181
東海太田川店	愛知県東海市	2026年3月	182（152）
平子橋店	愛知県名古屋市中南区	2026年4月	183（153）
福岡桜ヶ丘店（FC）	福岡県福岡市	2026年4月	184

上記以外にも多くの候補地が出てきており、店舗拡大に向け、2026年6月期の出店計画、出店時期を遅らせないよう、計画達成に向けて着実に店舗開発を進めてまいります。

また、既存店についても引き続き、「TREXブース増設」や「収益機能の追加」「猛暑対策」「トイレの完全男女別化」など、設備の充実を継続してまいります。

(人材採用)

キーパーLABO事業の生命線となる人材の採用は、今年度も精力的かつ先行して実施してまいります。新店舗出店と既存店の増員・増強を見据え、中途採用（アルバイトを含む）で200名、新卒採用で100名を実現してまいります。

【キーパー製品等関連事業】

KeePerコーティングのニーズ拡大に合わせ、導入店舗の拡大や新規開拓を積極的に進めてまいります。

(アフターマーケット)

ガソリンスタンドを中心とするキーパープロショップでは、将来的な燃料油販売数量の減少を背景に、店舗数の減少が避けられない状況です。すなわち、KeePer施工が可能な店舗自体に限られてくるため、今後を見据えると厳しいマーケットであることに変わりはありません。

しかし一方で、「車をキレイに維持したい」という需要は引き続き拡大しており、1店舗あたりの売上増は十分に見込める状況です。実際、すでに多くの技術者を擁するガソリンスタンド運営会社が、キーパーLABOへの転換を進める動きも出てきております。

当社は技術研修や技術コンテストなどを通じて、技術力の向上と現場スタッフのモチベーション向上を引き続き支援してまいります。

(新車マーケット)

今後の主軸である新車マーケットにおいては、純正採用になっているスバル、トヨタ、ホンダ、三菱、VOLVOの新車販売店向けに、新車販売時のKeePerボディコーティング提案を引き続き強化してまいります。また、他の新車メーカーに対しても純正採用を進めるべく、積極的に活動をしていきます。

さらに、新車ディーラーにおいては、将来の少子化問題などを背景に、新車販売台数が減少する事を見据えて、中古車や既販車向けのサービスに注力する企業・店舗が増加しております。当社は、新車施工と同じ施工方法でコーティングができ、かつ人材教育も可能な、KeePerが最も得意とする分野への展開にも力を入れてまいります。

(車以外のサービス)

本ビジネスにおいて大きな収益になっているモバイル事業とハウスクリーニング業界では、さらなる事業拡大を進めてまいります。また、昨年より営業活動を進めている家電業界、スポーツ用品業界、鉄道関連、マリン業界、ホイールメーカーへと業界を絞って、しっかりとビジネスの形にしております。

このマーケットの成長率を踏まえても、今後の大きな可能性はしっかり見えております。そのため、体制をしっかり整え、業界ごとに責任者を配置して営業活動を進めてまいります。

(海外事業)

日本国内において純正採用を受けているスバル、トヨタ、ホンダ、三菱、VOLVO、メルセデス・ベンツの海外のディストリビューターやカーディーラー向けに、営業活動を進めてまいります。

また、昨年にオープンした「KeePer LABOシンガポール店」を確実に立ち上げてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,137,452	4,172,742
受取手形	193,628	147,933
売掛金	1,637,166	1,766,891
商品	1,120,808	1,179,211
貯蔵品	123,979	118,784
前渡金	8,320	18,424
前払費用	254,301	250,540
関係会社短期貸付金	23,996	5,538
その他	89,661	75,458
貸倒引当金	△180	△199
流動資産合計	8,589,133	7,735,326
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,573,389	6,889,207
構築物（純額）	319,749	391,439
機械及び装置（純額）	44,351	37,690
車両運搬具（純額）	39,933	40,934
工具、器具及び備品（純額）	233,398	258,187
土地	2,016,836	2,016,836
リース資産（純額）	295,013	301,283
建設仮勘定	78,793	146,714
有形固定資産合計	8,601,463	10,082,293
無形固定資産		
ソフトウェア	66,133	98,183
その他	77,067	57,490
無形固定資産合計	143,201	155,674
投資その他の資産		
投資有価証券	22,237	4,354,132
関係会社株式	70,339	71,339
関係会社長期貸付金	462,448	871,666
長期前払費用	44,430	45,542
敷金及び保証金	599,705	690,392
建設協力金	295,013	301,283
保険積立金	11,460	11,460
繰延税金資産	445,076	507,682
その他	21	17
貸倒引当金	-	△7
投資その他の資産合計	1,950,732	6,853,510
固定資産合計	10,695,397	17,091,478
資産合計	19,284,531	24,826,804

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	729,482	613,910
1年内返済予定の長期借入金	48,000	506,316
未払金	682,512	610,277
未払法人税等	1,008,874	1,571,185
未払費用	355,059	461,473
リース債務	22,242	25,379
賞与引当金	70,479	73,411
契約負債	277,011	258,592
その他	161,438	183,268
流動負債合計	3,355,100	4,303,815
固定負債		
長期借入金	64,000	943,105
退職給付引当金	493,793	558,236
役員退職慰労引当金	288,243	294,257
リース債務	272,770	275,903
資産除去債務	339,767	397,953
その他	4,043	11,387
固定負債合計	1,462,617	2,480,843
負債合計	4,817,718	6,784,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金		
その他資本剰余金	1,049,019	1,049,019
資本剰余金合計	1,049,019	1,049,019
利益剰余金		
利益準備金	4,931	141,390
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	14,226,522	17,614,330
利益剰余金合計	14,231,454	17,755,720
自己株式	△2,164,590	△2,165,002
株主資本合計	14,463,440	17,987,294
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,371	54,851
評価・換算差額等合計	3,371	54,851
純資産合計	14,466,812	18,042,145
負債純資産合計	19,284,531	24,826,804

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高		
商品売上高	9,393,390	10,400,737
サービス売上高	11,181,192	12,692,579
売上高合計	20,574,582	23,093,316
売上原価		
商品期首棚卸高	1,164,573	1,120,808
当期商品仕入高	3,714,487	4,316,765
合計	4,879,061	5,437,573
商品期末棚卸高	1,120,808	1,177,832
商品売上原価	3,758,253	4,259,741
サービス売上原価	5,920,914	6,753,618
売上原価合計	9,679,167	11,013,360
売上総利益	10,895,415	12,079,956
販売費及び一般管理費		
役員報酬	344,313	261,640
給料及び手当	944,709	1,014,119
賞与	73,237	73,138
退職給付費用	16,585	18,307
賞与引当金繰入額	70,479	73,411
役員退職慰労引当金繰入額	17,274	14,461
法定福利費	317,564	386,507
福利厚生費	55,833	53,130
旅費及び交通費	399,052	468,194
通信費	53,915	64,218
減価償却費	117,435	140,726
賃借料	46,959	86,870
保険料	18,437	15,349
水道光熱費	16,729	19,172
消耗品費	299,175	307,844
租税公課	209,507	262,414
試験研究費	40,990	40,882
運賃及び荷造費	196,382	198,074
事務用品費	19,749	29,009
広告宣伝費	863,920	787,773
貸倒損失	-	9
支払手数料	277,468	301,526
貸倒引当金繰入額	21	47
車両費	137,321	57,315
業務委託費	151,632	205,100
リース料	42	42
その他	105,365	101,939
販売費及び一般管理費合計	4,794,106	4,981,229
営業利益	6,101,308	7,098,726

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業外収益		
受取利息	2,221	5,289
受取配当金	520	58,419
為替差益	-	5,805
受取手数料	4,364	2,236
その他	4,030	16,532
営業外収益合計	11,137	88,283
営業外費用		
支払利息	1,818	8,988
為替差損	35,476	-
貸倒引当金繰入額	-	△22
雑損失	25	12,460
特別退職金	-	33,600
営業外費用合計	37,321	55,026
経常利益	6,075,124	7,131,984
特別利益		
固定資産売却益	2,628	2,686
特別利益合計	2,628	2,686
特別損失		
固定資産除売却損	12,063	447
特別損失合計	12,063	447
税引前当期純利益	6,065,689	7,134,223
法人税、住民税及び事業税	1,693,306	2,331,100
法人税等調整額	△48,712	△85,734
法人税等合計	1,644,594	2,245,366
当期純利益	4,421,095	4,888,857

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,347,557	1,007,224	-	1,007,224	4,931	10,978,475	10,983,406
当期変動額							
剰余金の配当						△1,173,047	△1,173,047
資本準備金の取崩		△1,007,224	1,007,224				
当期純利益						4,421,095	4,421,095
自己株式の取得							
自己株式の処分			41,795	41,795			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	△1,007,224	1,049,019	41,795	-	3,248,047	3,248,047
当期末残高	1,347,557	-	1,049,019	1,049,019	4,931	14,226,522	14,231,454

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△2,189,329	11,148,858	2,378	2,378	11,151,236
当期変動額					
剰余金の配当		△1,173,047			△1,173,047
資本準備金の取崩		-			-
当期純利益		4,421,095			4,421,095
自己株式の取得	△1,078	△1,078			△1,078
自己株式の処分	25,818	67,614			67,614
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			993	993	993
当期変動額合計	24,739	3,314,582	993	993	3,315,576
当期末残高	△2,164,590	14,463,440	3,371	3,371	14,466,812

当事業年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,347,557	-	1,049,019	1,049,019	4,931	14,226,522	14,231,454
当期変動額							
剰余金の配当					136,459	△1,501,049	△1,364,590
資本準備金の取崩							
当期純利益						4,888,857	4,888,857
自己株式の取得							
自己株式の処分							
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	-	136,459	3,387,807	3,524,266
当期末残高	1,347,557	-	1,049,019	1,049,019	141,390	17,614,330	17,755,720

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△2,164,590	14,463,440	3,371	3,371	14,466,812
当期変動額					
剰余金の配当		△1,364,590			△1,364,590
資本準備金の取崩		-			-
当期純利益		4,888,857			4,888,857
自己株式の取得	△412	△412			△412
自己株式の処分		-			-
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）			51,479	51,479	51,479
当期変動額合計	△412	3,523,853	51,479	51,479	3,575,333
当期末残高	△2,165,002	17,987,294	54,851	54,851	18,042,145

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	6,065,689	7,134,223
減価償却費	446,555	557,878
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21	25
契約負債の増減額 (△は減少)	45,713	△18,418
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	67,078	64,443
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17,274	6,013
受取利息及び受取配当金	△2,741	△63,709
為替差損益 (△は益)	△1,276	△4,319
支払利息	1,818	8,988
固定資産除売却損益 (△は益)	9,434	△2,239
売上債権の増減額 (△は増加)	△288,063	△84,029
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,230	△53,208
仕入債務の増減額 (△は減少)	273,576	△115,571
前払費用の増減額 (△は増加)	1,577	3,760
未払金の増減額 (△は減少)	116,523	△18,444
未払費用の増減額 (△は減少)	83,909	106,413
その他	71,990	70,085
小計	6,913,312	7,591,891
利息及び配当金の受取額	2,741	63,709
利息の支払額	△1,818	△8,988
法人税等の支払額	△1,634,677	△1,791,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,279,557	5,855,084
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	△69,339	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△2,076,688	△1,980,347
有形固定資産の売却による収入	7,112	3,860
無形固定資産の取得による支出	△39,104	△49,168
投資有価証券の取得による支出	-	△4,257,288
関係会社貸付けによる支出	△205,829	△409,621
貸付金の回収による収入	90	18,861
敷金及び保証金の差入による支出	△88,051	△92,318
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,631
建設協力金の支払による支出	△44,000	△33,330
その他	20,693	2,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,495,117	△6,796,566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△48,000	△162,579
自己株式の取得による支出	△1,078	△412
配当金の支払額	△1,173,047	△1,364,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,222,126	△27,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,313	4,356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,563,626	△964,709
現金及び現金同等物の期首残高	3,573,825	5,137,452
現金及び現金同等物の期末残高	5,137,452	4,172,742

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

キーパーLABO運営事業（以下、当事業という。）の拡大に伴い、当事業の実態をより適切に表示するため、当事業年度より、従来「販売費及び一般管理費」に含めていた当事業の人件費・経費の一部を「売上原価」として計上しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の損益計算書の組替を行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において「販売費及び一般管理費」に表示していた5,920百万円を「サービス売上原価」に組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は販売先別にセグメントを位置付け、一般顧客向け、事業者向けに包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

従って当社は販売先別のセグメントから構成されており「キーパー製品等関連事業」「キーパーLABO運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「キーパー製品等関連事業」は自動車のコーティング用ケミカル製品をはじめとした、道具機器類の開発・製造、販売を行っております。「キーパーLABO運営事業」は一般のカー・ユーザー向けに自動車のコーティングを中心とした「車の美装を提供する店舗」をコンセプトとして「キーパーLABO」店舗を運営しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントごとの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、セグメント別の原価に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	487,924	—	487,924	—	487,924
仙台営業所	1,077,192	—	1,077,192	—	1,077,192
東京営業所	1,868,819	—	1,868,819	—	1,868,819
横浜営業所	899,004	—	899,004	—	899,004
名古屋営業所	2,000,251	—	2,000,251	—	2,000,251
大阪営業所	1,008,424	—	1,008,424	—	1,008,424
広島営業所	897,545	—	897,545	—	897,545
福岡営業所	1,154,228	—	1,154,228	—	1,154,228
東日本	—	5,751,146	5,751,146	—	5,751,146
西日本	—	5,430,045	5,430,045	—	5,430,045
顧客との契約から生 じる収益	9,393,390	11,181,192	20,574,582	—	20,574,582
外部顧客への売上高	9,393,390	11,181,192	20,574,582	—	20,574,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	385,608	—	385,608	△385,608	—
計	9,778,998	11,181,192	20,960,190	△385,608	20,574,582
セグメント利益	3,828,684	2,272,623	6,101,308	—	6,101,308
セグメント資産	3,478,118	9,025,754	12,503,872	6,780,658	19,284,531
その他の項目					
減価償却費	67,523	379,031	446,555	—	446,555
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	70,923	3,690,028	3,760,952	74,151	3,835,103

(注1) セグメント間の内部売上高又は振替高は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業部に対するものです。

(注2) セグメント資産の調整額は報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(注3) 前事業年度末より、各セグメント損益の業績をより適切に反映させるため、セグメント間の内部売上高又は振替高を市場価格等を勘案して決定する方法からセグメント別の原価に基づく方法に変更するとともに、全社費用の配賦基準の見直し等を行っております。なお、前事業年度のセグメント情報については、変更後の方法により作成したものを記載しております。

(注4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社管理部門における取得額であります。

当事業年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	585,585	—	585,585	—	585,585
仙台営業所	1,158,593	—	1,158,593	—	1,158,593
東京営業所	2,225,023	—	2,225,023	—	2,225,023
横浜営業所	955,963	—	955,963	—	955,963
名古屋営業所	2,166,397	—	2,166,397	—	2,166,397
大阪営業所	1,043,339	—	1,043,339	—	1,043,339
広島営業所	1,006,293	—	1,006,293	—	1,006,293
福岡営業所	1,259,541	—	1,259,541	—	1,259,541
東日本	—	6,385,251	6,385,251	—	6,385,251
西日本	—	6,307,328	6,307,328	—	6,307,328
顧客との契約から生 じる収益	10,400,737	12,692,579	23,093,316	—	23,093,316
外部顧客への売上高	10,400,737	12,692,579	23,093,316	—	23,093,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	528,899	—	528,899	△528,899	—
計	10,929,636	12,692,579	23,622,215	△528,899	23,093,316
セグメント利益	4,381,748	2,716,978	7,098,726	—	7,098,726
セグメント資産	3,913,043	10,693,841	14,606,884	10,219,918	24,826,804
その他の項目					
減価償却費	79,947	477,931	557,878	—	557,878
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	30,275	3,744,822	3,775,097	153,414	3,928,512

(注1) セグメント間の内部売上高又は振替高は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業部に対するものです。

(注2) セグメント資産の調整額は報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(注3) 前事業年度末より、各セグメント損益の業績をより適切に反映させるため、セグメント間の内部売上高又は振替高を市場価格等を勘案して決定する方法からセグメント別の原価に基づく方法に変更するとともに、全社費用の配賦基準の見直し等を行っております。なお、前事業年度のセグメント情報については、変更後の方法により作成したものを記載しております。

(注4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社管理部門における取得額であります。

(持分法損益等)

当社は非連結子会社としてKeePerロジスティクス株式会社及びKeePerエージェンシー株式会社並びにSG KEEPER PTE. LTDを有しておりますが、同社は利益基準及び利益剰余金基準に照らして重要性の乏しい非連結子会社であるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	530.08円	661.10円
1株当たり当期純利益金額	162.02円	179.14円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	4,421,095	4,888,857
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	4,421,095	4,888,857
普通株式の期中平均株式数(株)	27,287,637	27,291,395

(重要な後発事象)

当社は、2025年8月15日開催の取締役会において、当社が保有する株式会社ソフト99コーポレーションの普通株式2,687,700株について、堯アセットマネジメント株式会社を買付者とした公開買付け（以下、「本公開買付け」といいます。）に応募することを決議いたしました。

本公開買付けは2025年9月19日に終了予定であり、本公開買付けが成立し、株式を売却した場合、2026年6月期第1四半期において投資有価証券売却益2,368,367千円を特別利益として計上する見込みです。